

4-(1)-⑮ 社会貢献・連携活動の状況

■美術館大学センター

第4回目となる山形ビエンナーレは、新たに医師でありながら芸術・文化への造形が深い稲葉俊郎氏を芸術監督に迎え、新体制により「こころ・からだ・芸術」をテーマに開催した。これまでの市街地での実施方針を改め、大学構内及び市内の特設配信スタジオを拠点としたオンライン方式での開催に転換し、約180名の出展・出演者により160を超えるプログラムを配信した。その結果、会期中のプログラム視聴者は10万人を超えた。

また一部を除き、閉幕後もアーカイブ公開を続けており、地域と時間枠を超えた新しい芸術祭の在り方を提示することができた。

■全国高等学校デザイン選手権大会（デザセン）

令和2（2020）年度は新型コロナウイルスの影響により開催を見送った。

令和3（2021）年度へ向けて応募要項をリニューアルし、その内容について高校教諭へ評価アンケートを実施した結果、高評価を得ることができたことから、次年度募集に向けての足がかりとなった。